

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

10/532065

(43) 国際公開日
2004 年 5 月 13 日 (13.05.2004)

PCT

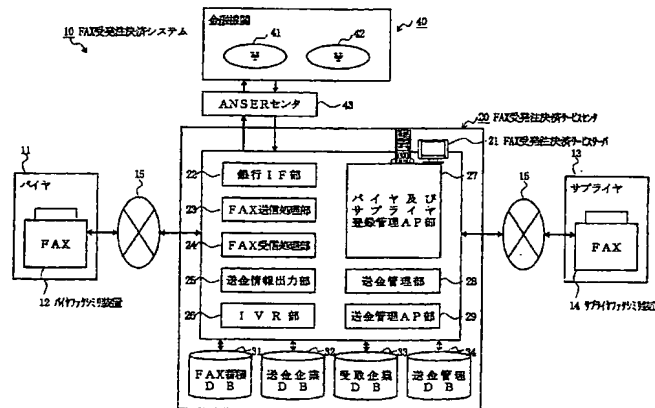
(10) 国際公開番号
WO 2004/040493 A1

- (51) 国際特許分類⁷: G06F 17/60 LTD.) [JP/JP]; 〒105-0001 東京都 港区 虎ノ門 1 丁目 7 番 1 2 号 Tokyo (JP).
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2003/013862
- (22) 国際出願日: 2003 年 10 月 29 日 (29.10.2003)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2002-316282
2002 年 10 月 30 日 (30.10.2002) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 沖電気工業株式会社 (OKI ELECTRIC INDUSTRY CO., LTD.) [JP/JP]; 〒105-0001 東京都 港区 虎ノ門 1 丁目 7 番 1 2 号 沖電気工業株式会社内 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (73) 発明者/出願人 (米国についてののみ): 長谷部 忍 (HASEBE, Sinobu) [JP/JP]; 〒105-0001 東京都 港区 虎ノ門 1 丁目 7 番 1 2 号 沖電気工業株式会社内 Tokyo (JP). 西尾 美和 (NISHIO, Miwa) [JP/JP]; 〒105-0001 東京都 港区 虎ノ門 1 丁目 7 番 1 2 号 沖電気工業株式会社内 Tokyo (JP). 黒田 充彦 (KURODA, Mitsuhiko) [JP/JP]; 〒105-0001 東京都 港区 虎ノ門 1 丁目 7 番 1 2 号 沖電気工業株式会社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: 佐藤 幸男 (SATO, Yukio); 〒160-0023 東京都 新宿区 西新宿 7 丁目 1 8 番 5 号 中央第 7 西新宿ビル 404 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): CN, KR, US.

[続葉有]

(54) Title: FAX ORDER ACCEPTANCE/ORDER SETTLING SYSTEM

(54) 発明の名称: F A X 受発注決済システム



10...FAX ORDER ACCEPTANCE/ORDER SETTLING SYSTEM
40...FINANCIAL INSTITUTION
43...ANSWER CENTER
11...BUYER
12...BUYER FACSIMILE MACHINE
22...BANK IF SECTION
23...FAX TRANSMISSION SECTION
24...FAX RECEPTION SECTION
25...MONEY TRANSFER INFORMATION OUTPUT SECTION
26...IVR SECTION

27...BUYER&SUPPLIER REGISTRATION MANAGEMENT AP SECTION
28...TRANSFER MANAGEMENT SECTION
29...TRANSFER MANAGEMENT AP SECTION
31...FAX STORAGE DB
32...TRANSFER COMPANY DB
33...RECEPTION COMPANY DB
34...TRANSFER MANAGEMENT DB
20...FAX ORDER ACCEPTANCE/ORDER SETTLING SERVICE CENTER
21...FAX ORDER ACCEPTANCE/ORDER SETTLING SERVICE SERVER
13...SUPPLIER
14...FACSIMILE MACHINE OF SUPPLIER

(57) Abstract: An order for a purchase commodity and its acceptance are carried out through facsimile, and the settlement is automatically carried out. The supplier does not need to make and send an account nor to confirm the reception of the payment. The buyer does not need to confirm the account nor to carry out a procedure to transfer the cost to the supplier's account. The settlement cost is low, the system is simple, and the security is high. A fax order acceptance/order settling service center transmits order information received from a facsimile machine of the buyer to a facsimile machine of the supplier according to the order information, asks a settling institution to settle the cost of the purchase commodity or service, and sends as a reply a report containing the result of the settlement to the facsimile machines of the buyer and supplier.

[続葉有]



(84) 指定国 (広域): ヨーロッパ特許 (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PT, RO, SE, SI, SK, TR).

添付公開書類:

— 国際調査報告書

規則4.17に規定する申立て:

— USのための発明者である旨の申立て (規則4.17(iv))

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約: ファクシミリを用いて仕入れ商品の受発注を行うと、自動的に代金の決済が行われるようにして、前記サプライヤは請求書を作成したり、送付したり、入金の確認をしたりする必要がなく、前記バイヤは請求書を確認したり、代金をサプライヤの口座に振り込むための手続を行ったりする必要がなく、コストが低く、簡便で、セキュリティの高くなるようにする。FAX受発注決済サービスセンタは、バイヤのファクシミリ装置から受信した発注情報に基づき、サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するとともに、仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信する。

明 細 書

F A X 受発注決済システム

5 技術分野

本発明は、F A X 受発注決済システムに関するものである。

背景技術

従来、小売店等のバイヤが卸売業者等のサプライヤから商品、原材料
10 等の仕入れ商品を購入する場合、前記バイヤは、仕入れ商品の品目、数
量等の発注内容をファクシミリ（f a c s i m i l e、F A X 又はファ
ックス）によってサプライヤに送付するようになっている。この場合、
前記バイヤは前記発注内容が記載された用紙を自己のファクシミリ装置
に読み取らせ前記発注内容を送信することによって発注を行い、前記サ
15 プライヤは、自己のファクシミリ装置が受信して用紙に印刷した前記発
注内容を閲覧することによって受注を行うようになっている。

このようなファクシミリを用いる仕入れ商品の受発注システムは、電
話を用いる仕入れ商品の受発注システムと比較して、発注内容を正確に
伝えることができ、かつ、受注側であるサプライヤが不在の時でも発注
20 を行うことができる。また、前記バイヤは前記発注内容が記載された用
紙を発注記録として保存することができ、前記サプライヤは自己のファ
クシミリ装置によって前記発注内容が印刷された用紙を受注記録として
保存することができる。さらに、前記ファクシミリを用いる仕入れ商品
の受発注システムは、コンピュータ等の設備投資が不要であり、コンピ
25 ュータ操作のように専門知識を必要とせず、インターネットを利用する
通信のようにセキュリティ上の問題が生じることもない。そのため、前

記ファクシミリを用いる仕入れ商品の受発注システムは広く普及している。

しかしながら、前記従来のファクシミリを用いる仕入れ商品の受発注システムにおいて、前記バイヤ及びサプライヤは前記仕入れ商品の決済を従来通り行う必要がある。そのため、前記サプライヤは前記仕入れ商品の請求書を作成して前記バイヤに送付したり、バイヤに出向いて料金を回収したりする必要がある、煩わしく感じるだけでなく、時間がかかり、通信費等のコストも嵩（かさ）んでしまう。また、前記バイヤは、銀行、信用金庫等の金融機関の営業店に出向き、前記仕入れ商品の代金をサプライヤの口座に振り込むための手続を行う必要があるので、煩わしく感じるだけでなく、時間がかかり、交通費等のコストも嵩んでしまう。

さらに、前記サプライヤは、請求書を作成するために、受注記録として保存した用紙に印刷された発注内容を所定の期間毎にまとめて整理する必要があるので、煩わしく感じるだけでなく、時間がかかってしまう。また、前記バイヤも、請求書の内容を確認するために、発注記録として保存した用紙に記載された発注内容を所定の期間毎にまとめて整理する必要があるので、煩わしく感じるだけでなく、時間がかかってしまう。さらに、前記サプライヤは、入金されたか否かを確認する必要がある、煩わしく感じるだけでなく、時間がかかってしまう。

本発明は、前記従来の受発注システムの問題点を解決して、ファクシミリを用いて仕入れ商品の受発注を行うと、自動的に代金の決済が行われるようにして、前記サプライヤは請求書を作成したり、送付したり、入金の確認をしたりする必要がなく、前記バイヤは請求書を確認したり、代金をサプライヤの口座に振り込むための手続を行ったりする必要がなく、コストが低く、簡便で、セキュリティの高いFAX受発注決済シス

テムを提供することを目的とする。

発明の開示

そのために、本発明の F A X 受発注決済システムにおいては、仕入れ
5 商品又は役務を発注するバイヤのファクシミリ装置と、前記仕入れ商品
又は役務を受注するサプライヤのファクシミリ装置と、前記仕入れ商品
又は役務の代金の決済処理を行う決済処理機関と、前記バイヤ及びサプ
ライヤのファクシミリ装置並びに決済処理機関と通信可能に接続された
F A X 受発注決済サービスセンタとを有し、該 F A X 受発注決済サービ
10 スセンタは、前記バイヤのファクシミリ装置から受信した発注情報に基
づき、前記サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するととも
に、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、
前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシ
ミリ装置に返信する。

15 本発明の他の F A X 受発注決済システムにおいては、さらに、前記バ
イヤ又はサプライヤのファクシミリ装置は、固定電話インターネットサ
ービスに適合する。

本発明の更に他の F A X 受発注決済システムにおいては、さらに、前
記 F A X 受発注決済サービスセンタは、受注情報、前記発注情報及び決
20 済処理結果を格納するデータベースを備え、所定の期間内における前記
決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ又はサプライヤのファクシミリ
装置に送信する。

本発明の更に他の F A X 受発注決済システムにおいては、さらに、前
記 F A X 受発注決済サービスセンタは、バイヤ及びサプライヤ登録管理
25 A P 部を備え、バイヤ及び該バイヤと取引を行うサプライヤの情報をあ
らかじめ登録して管理する。

本発明の更に他のFAX受発注決済システムにおいては、さらに、前記FAX受発注決済サービスセンタは、FAX受信処理部及びFAX送信処理部を備え、受信した発注書のファクシミリデータをOCR機能を利用して分析し、確認のためにバイヤのファクシミリ装置に返信する。

- 5 本発明の更に他のFAX受発注決済システムにおいては、さらに、前記FAX受発注決済サービスセンタは、送金管理部を備え、バイヤがファクシミリ装置又は電話から発注の中止又は変更の指示を送信した場合、取引の中止又は変更を行う。

- 10 本発明の更に他のFAX受発注決済システムにおいては、さらに、記FAX受発注決済サービスセンタは、送金管理部を備え、サプライヤがファクシミリ装置又は電話から発注の中止又は変更の指示を送信した場合、取引の中止又は変更を行う。

- 15 本発明の更に他のFAX受発注決済システムにおいては、さらに、前記バイヤのファクシミリ装置が固定電話インターネットサービスに適合する場合、バイヤが認証用紙のファクシミリデータをFAX受発注決済サービスセンタに送信したとき、該FAX受発注決済サービスセンタは、受信した電話番号に基づいてバイヤの電子メールアドレスを取得し、バイヤに電子メールを送信することによってバイヤの認証を行う。

- 20 本発明の更に他のFAX受発注決済システムにおいては、さらに、前記バイヤのファクシミリ装置が固定電話インターネットサービスに適合する場合、バイヤが認証用紙のファクシミリデータをFAX受発注決済サービスセンタに送信したとき、該FAX受発注決済サービスセンタは、受信した電話番号に基づいてバイヤの電子メールアドレスを取得し、バイヤに発注元、発注商品、発注金額等を入力することができるウェブページ
- 25 のURLが記載された電子メールを送信し、バイヤは前記ウェブページに入力することによって発注する。

本発明のFAX受発注決済サービスセンタにおいては、仕入れ商品又は役務の発注情報をバイヤのファクシミリ装置から受信し、分析し、データベースに格納する受信処理部と、前記仕入れ商品又は役務の発注情報をサプライヤのファクシミリ装置に送信する送信処理部と、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を行う決済処理機関と通信を行う決済処理機関通信インターフェイス部とを有し、前記発注情報に基づき、前記サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信する。

本発明の他のFAX受発注決済サービスセンタにおいては、さらに、前記決済処理に基づく資金の移動を管理する送金管理部と、前記資金の移動の履歴を格納する送金管理データベースとを有する。

本発明の更に他のFAX受発注決済サービスセンタにおいては、さらに、所定の期間内における前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ又はサプライヤのファクシミリ装置に送信する。

本発明のFAX受発注決済サービスプログラムにおいては、仕入れ商品又は役務の受発注及び決済を行うために、コンピュータを、仕入れ商品又は役務の発注情報をバイヤのファクシミリ装置から受信する受信処理部、前記仕入れ商品又は役務の発注情報をサプライヤのファクシミリ装置に送信する送信処理部、及び、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を行う決済処理機関と通信を行う決済処理機関通信インターフェイス部として機能させ、前記発注情報に基づき、前記サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信するように

する。

本発明の F A X 受発注決済方法においては、仕入れ商品又は役務を発注するバイヤのファクシミリ装置から発注情報を受信すると、前記仕入れ商品又は役務を受注するサプライヤのファクシミリ装置発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信する。

図面の簡単な説明

10 第 1 図は、本発明の第 1 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの概念図である。

第 2 図は、本発明の第 1 の実施の形態における F A X 受発注決済サービスセンタの機能ブロック図である。

15 第 3 図は、本発明の第 1 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの動作を示す図である。

第 4 図は、本発明の第 1 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの動作を示すシーケンス図である。

第 5 図は、本発明の第 2 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの概念図である。

20 第 6 図は、本発明の第 2 の実施の形態における F A X 受発注決済サービスセンタの機能ブロック図である。

第 7 図は、本発明の第 2 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの動作を示す図である。

25 第 8 図は、本発明の第 2 の実施の形態における F A X 受発注決済システムの動作を示すシーケンス図である。

発明を実施するための最良の形態

以下、本発明の実施の形態について図面を参照しながら詳細に説明する。

第1図は本発明の第1の実施の形態におけるFAX受発注決済システム
5 の概念図である。

図において、10はFAX受発注決済システム、11は仕入れ商品を
発注するバイヤ、13は仕入れ商品を受注するサプライヤである。こ
こで、前記バイヤ11は、前記サプライヤ13から仕入れ商品を購入す
る者であり、例えば、各種の商品を販売する商店であるが、レスト
10 ラン、バー等の飲食店、理容室等のサービスを提供する店舗、事務所、個人等
いかなる者であってもよい。また、前記仕入れ商品は、例えば、商店
において販売する商品であるが、飲食店における食材、理容室にお
ける洗剤、化粧品、鋏（はさみ）等のようにサービスを提供するた
めに必要な物品、事務所、個人等において消費又は使用する事務
用品、事務機器等
15 の物品であってもよい。さらに、前記仕入れ商品は、運送、清掃、委託
事務等のサービス（役務）であってもよい。また、前記サプライヤ13
は、前記バイヤ11に仕入れ商品を販売する者であり、例えば、卸
売店、小売店等の商店であるが、工場等のように物品を製造する
者であってもよいし、各種のサービスを提供する者であってもよい。

そして、前記バイヤ11及びサプライヤ13は、それぞれ、自己の
ファクシミリ装置としてのバイヤファクシミリ装置12及びサプ
ライヤファクシミリ装置14を有する。なお、該バイヤファクシ
ミリ装置12及びサプライヤファクシミリ装置14は、いかなる種
類のものであってもよく、例えば、通常の電話機と兼用型であ
る家庭用の装置であってもよいし、コピー機やプリンタと一体
25 となった複合機であってもよい。なお、IVR（Interactive Voice Request）機能

を使用する場合、前記バイヤファクシミリ装置 1 2 及びサプライヤファクシミリ装置 1 4 は電話機能を有する装置である。

そして、前記バイヤファクシミリ装置 1 2 及びサプライヤファクシミリ装置 1 4 は、有線又は無線の電話回線網等から成るネットワークとしての公衆回線網 1 5 に接続されている。

また、4 0 は、前記仕入れ商品の代金の決済処理を行う決済処理機関としての金融機関であり、例えば、銀行、信用金庫、クレジット会社等である。そして、前記金融機関 4 0 には、前記バイヤ 1 1 の口座としてのバイヤ口座 4 1 及び前記サプライヤ 1 2 の口座としてのサプライヤ口座 4 2 が開設されているとともに、通信インターフェイス等を備える図示されない勘定系コンピュータシステムを有する。なお、該勘定系コンピュータシステムには、金融機関 4 0 における資金移動等のサービスを提供するための ANSWER (アンサー: Automatic Answer Network System for Electrical Request) (R) に使用される ANSWER (R) センタ 4 3 を介して、振込、振替等の金融処理の依頼を送信することができるようになっている。この場合、前記 ANSWER (R) センタ 4 3 は、一種のコンピュータシステムであり、決済処理機関の一部として機能する。

そして、2 0 は FAX 受発注決済サービスセンタであり、CPU、MPU 等の演算手段、半導体メモリ、磁気ディスク等の記憶手段、通信インターフェイス等を備えるコンピュータとしての FAX 受発注決済サービスサーバ 2 1 を有し、前記バイヤ 1 1 及びサプライヤ 1 3 が自己のバイヤファクシミリ装置 1 2 及びサプライヤファクシミリ装置 1 4 を用いて仕入れ商品の受発注を行うと、自動的に代金の決済を行う FAX 受発注決済サービスを提供する。なお、前記 FAX 受発注決済サービスサーバ 2 1 は、単一の装置であってもよいし、分散型サーバのように複数の

サーバが有機的に結合した装置であってもよい。また、前記 F A X 受発注決済サービスセンタ 20 を運営する者は、個人、法人、営利企業、公益団体等いかなる者であってもよく、前記金融機関 40 を運営する者と同一の者であってもよい。

5 ここで、前記 F A X 受発注決済サービスセンタ 20 を運営する者は、あらかじめ前記バイヤ 11 及びサプライヤ 13 との間に F A X 受発注決済サービスに関する契約を締結し、前記バイヤ 11 及びサプライヤ 13 に対して F A X 受発注決済サービスを提供する。また、前記 F A X 受発注決済サービスセンタ 20 を運営する者は、必要に応じてあらかじめ前記金融機関 40 と A N S E R (R) センタ 43 を介して行う決済に関する契約を締結し、 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 から前記仕入れ商品の代金の決済処理を依頼する、すなわち、振込、振替等の金融処理の依頼を送信することができるようになっている。この場合、前記 F A X 受発注決済サービスセンタ 20 は、あらかじめ前記バイヤ 11 及びサプライヤ 13 の許諾を得ているので、バイヤ口座 41 からサプライヤ口座 42 への振込の依頼を A N S E R (R) センタ 43 を介して金融機関 40 の勘定系コンピュータシステムに送信することができる。

そして、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、機能の観点から、決済処理機関通信インターフェイス部としての銀行 I / F (I n t e r F a c e : インターフェイス) 部 22、送信処理部としての F A X 送信処理部 23、受信処理部としての F A X 受信処理部 24、送金情報出力部 25、I V R 部 26、バイヤ及びサプライヤ登録管理 A P (A p p l i c a t i o n P r o g r a m) 部 27、送金管理部 28、及び、送金管理 A P 部 29 を有する。また、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、 F A X 受発注決済サービスセンタ 20 が有するデータベースとしての F A X 蓄積データベース 31、送金企業データベース

3 2、受取企業データベース 3 3 及び送金管理データベース 3 4 に接続
されている。なお、前記 F A X 蓄積データベース 3 1、送金企業データ
ベース 3 2、受取企業データベース 3 3 及び送金管理データベース 3 4
は、F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 から独立したものであっても
5 よいし、F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 の内部に配設されたもの
であってもよい。

ここで、前記銀行 1 / F 部 2 2 は、A N S E R (R) センタ 4 3 を介
して金融機関 4 0 の勘定系コンピュータシステムに振込の依頼を送信す
るためのインターフェイスであり、F A X 受発注決済サービスサーバ 2
10 1 の内部システム用のフォーマットを A N S E R (R) センタ 4 3 等の
外部システム用のフォーマットに変換するようになっている。また、前
記 F A X 送信処理部 2 3 は、バイヤ 1 1 に対する報告書、サプライヤ 1
3 に対する発注書等を作成し、ファクシミリによってバイヤファクシミ
リ装置 1 2 及びサプライヤファクシミリ装置 1 4 に送信する。さらに、
15 前記 F A X 受信処理部 2 4 は、バイヤファクシミリ装置 1 2 からファク
シミリによって送信された発注情報としての発注書を受信し、該発注書
の記載事項を分析してデータとして保存する。

そして、前記送金情報出力部 2 5 は、サプライヤ 1 3 に対する発注書
をサプライヤファクシミリ装置 1 4 に送信した後に、発注内容と発注さ
20 れた仕入れ商品の決済処理結果とを含む報告としての報告書を受発注処
理毎及び所定の期間毎に作成して、ファクシミリによってバイヤファク
シミリ装置 1 2 及びサプライヤファクシミリ装置 1 4 に送信する。

なお、前記所定の期間は、例えば、一ヶ月、三ヶ月、半年等のように
会計、決算等のために定められた期間であり、前記送金情報出力部 2 5
25 は、前記期間の末毎に前記報告書を作成して送信する。また、前記 I V
R 部 2 6 は、バイヤ 1 1 及びサプライヤ 1 3 の電話による取引の変更や

中止などに関する問い合わせに対して自動的に音声によって返答する。

さらに、前記バイヤ及びサプライヤ登録管理ＡＰ部２７は、バイヤ１１及び該バイヤ１１と取引を行うサプライヤ１３の情報を登録して管理する。また、前記送金管理部２８は、振込等の金融処理による資金移動の履歴をすべて管理する。そして、前記送金管理ＡＰ部２９は、前記ＦＡＸ受発注決済サービスセンタ２０を運営する者又は管理する者が、操作することによって、振込等の金融処理の中止や変更を行うことができる。また、前記資金移動の履歴を検索したり参照したりすることもできるようになっている。

そして、前記ＦＡＸ蓄積データベース３１は、発注情報としての前記発注書のファクシミリデータ（画像データ）及び発注内容を格納して保存する。ここで、該発注内容は、発注日時、発注した仕入れ商品の品目及び個数、金額等を含むものであり、前記ＦＡＸ受信処理部２４が発注書の記載事項を分析して抜き出したものである。そして、前記送金企業データベース３２は、バイヤファクシミリ装置１２の電話番号、金融機関４０に開設されたバイヤ口座４１の口座番号やパスワード等のバイヤ１１の情報を格納する。また、前記受取企業データベース３３は、それぞれのバイヤ１１が仕入れ商品を購入する先としてあらかじめ登録したサプライヤ１３の情報、すなわち、サプライヤファクシミリ装置１４の電話番号、金融機関４０に開設されたサプライヤ口座４２の口座番号等のサプライヤ１３の情報を格納する。さらに、前記送金管理データベース３４は、振込等の金融処理による資金移動の履歴をすべて格納する。

次に、前記ＦＡＸ受発注決済サービスセンタ２０の各機能部の関連について説明する。

第２図は本発明の第１の実施の形態におけるＦＡＸ受発注決済サービスセンタの機能ブロック図である。

第２図に示されるように、本実施の形態のＦＡＸ受発注決済サービスセンタ２０においては、送金管理部２８が中心的な機能を果たし、送金情報出力部２５並びにバイヤ及びサプライヤ登録管理ＡＰ部２７を除くすべての機能部と直接に送受信を行うようになっている。まず、銀行Ｉ／Ｆ部２２は、ＡＮＳＥＲ（Ｒ）センタ４３と振込等の金融取引に関する情報の送受信を行うとともに、前記送金管理部２８とも前記情報の送受信を行うようになっている。そして、ＩＶＲ部２６は、公衆回線網１５を介してバイヤ１１及びサプライヤ１３の電話と音声信号の送受信を行うとともに、前記送金管理部２８とも各種情報の送受信を行うようになっている。また、ＦＡＸ送信処理部２３は、前記送金管理部２８からデータを受信してバイヤ１１及びサプライヤ１３に対する報告書、サプライヤ１３に対する発注書等を作成し、公衆回線網１５を介してバイヤファクシミリ装置１２及びサプライヤファクシミリ装置１４に送信する。さらに、ＦＡＸ受信処理部２４は、公衆回線網１５を介してバイヤファクシミリ装置１２から発注書を受信し、該発注書の記載事項を分析したデータを送金管理部２８に送信する。

そして、該送金管理部２８は、ＦＡＸ蓄積データベース３１、送金企業データベース３２、受取企業データベース３３及び送金管理データベース３４にアクセスして、必要な情報の取得及び格納を行う。また、前記送金情報出力部２５は、送金管理データベース３４にアクセスして振込等の金融処理による資金移動の履歴を取得する。さらに、前記バイヤ及びサプライヤ登録管理ＡＰ部２７は、送金企業データベース３２にアクセスして前記バイヤ１１の情報を格納して登録し、受取企業データベース３３にアクセスして前記バイヤ１１と取引を行うサプライヤ１３の情報を格納して登録するようになっている。

次に、前記構成のＦＡＸ受発注決済システム１０の動作について説明

する。

第3図は本発明の第1の実施の形態におけるFAX受発注決済システムの動作を示す図、第4図は本発明の第1の実施の形態におけるFAX受発注決済システムの動作を示すシーケンス図である。

5 まず、バイヤ11は、バイヤファクシミリ装置12の電話番号、金融機関40に開設されたバイヤ口座41の口座番号やパスワード等の情報をあらかじめFAX受発注決済サービスセンタ20に登録し、また、前記バイヤ11が仕入れ商品を購入するサプライヤ13もサプライヤファクシミリ装置14の電話番号、金融機関40に開設されたサプライヤ口座42の口座番号等の情報をあらかじめFAX受発注決済サービスセン
10 タ20に登録する。この場合、前記バイヤ11はパンの販売店であり、前記サプライヤ13はパンの製造卸売業者であるとして説明する。

 そして、バイヤ11は、発注書16に発注する仕入れ商品の品目及び個数、発注金額等を記載し、バイヤファクシミリ装置12に読み取らせる。
15 なお、前記発注書16は宛先としてのサプライヤ13の名称、前記仕入れ商品の品目及び個数、発注金額等を記入する記入欄等があらかじめ所定のフォーマットで印刷された定型用紙であることが望ましい。続いて、前記バイヤ11がバイヤファクシミリ装置12を操作して、FAX受発注決済サービスセンタ20の電話番号を入力して送信すると、第
20 3図において矢印1で示されるように、前記発注書16のファクシミリデータが、公衆回線網15を介して、FAX受発注決済サービスセンタ20に送信される。これにより、前記バイヤ11は仕入れ商品の発注を行う。なお、前記バイヤ11は、前記発注書16に記入することによって、代金の振込を実行する日を選択することもできる。

25 続いて、前記FAX受発注決済サービスセンタ20においてFAX受発注決済サービスサーバ21が前記発注書16のファクシミリデータを

受信すると、FAX受信処理部24は前記発注書16の記載事項をOCR (Optical Character Reader) を利用して読み取って分析する。そして、前記発注書16のファクシミリデータ及び発注内容は、第3図において矢印2で示されるように、FAX蓄積データベース31に格納される。この場合、前記FAX受信処理部24は、OCRを利用して読み取って分析した前記発注書16の記載事項のエラーチェックを行うことが望ましい。そして、該エラーチェックの後、OCRを利用して読み取って分析した前記発注書16の記載事項を確認のためにバイヤファクシミリ装置12に返信するようにしてもよい。なお、前記バイヤ11が選択した場合、IVR部26が前記バイヤ11に前記発注書16のファクシミリデータを受信した旨を音声によって通知するようにしてもよい。

また、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記発注書16のファクシミリデータにバイヤ11毎の発注番号を付与する。そして、前記発注書16のファクシミリデータ及び発注内容は、発注番号、受信した日時等の情報とともにFAX蓄積データベース31に格納される。これにより、前記バイヤ11は、発注番号を指定することによって、FAX蓄積データベース31に格納されている前記発注書16を検索することができる。さらに、必要に応じて、該発注書16をバイヤファクシミリ装置12に返信させることができる。

そして、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、前記発注書16のファクシミリデータを送信したバイヤファクシミリ装置12の電話番号に基づいて、第3図において矢印3で示されるように、送金企業データベース32にアクセスして前記バイヤ11を特定する。また、前記FAX受発注決済サービスセンタ20は、送金企業データベース32から、金融機関40に開設されたバイヤ口座41の口座番号やパスワード

等の情報も取得する。さらに、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 は、前記発注書 1 6 記載されたサプライヤ 1 3 の名称に基づいて、サプライヤ 1 3 を特定し、第 3 図において矢印 4 で示されるように、受取企業データベース 3 3 にアクセスして、金融機関 4 0 に開設されたサプライヤ口座 4 2 の口座番号、サプライヤファクシミリ装置 1 4 の電話番号等の情報を取得する。

続いて、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 は、前記発注書 1 6 のファクシミリデータを、第 3 図において矢印 5 で示されるように、公衆回線網 1 5 を介して、サプライヤファクシミリ装置 1 4 に送信する。そして、該サプライヤファクシミリ装置 1 4 は 発注内容が印刷された発注書 1 6 を発行する。これにより、サプライヤ 1 3 は仕入れ商品の受注を行う。

また、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 は、前記仕入れ商品の代金を発注書 1 6 から特定し、代金に相当する金額のバイヤ口座 4 1 からサプライヤ口座 4 2 への振込の依頼を、第 3 図において矢印 6 で示されるように、A N S E R (R) センタ 4 3 を介して金融機関 4 0 に送信する。なお、前記振込の依頼には、バイヤ口座 4 1 の口座番号やパスワード、サプライヤ口座 4 2 の口座番号等の情報も付加される。これにより、第 3 図において矢印 7 で示されるように、金融機関 4 0 において、バイヤ口座 4 1 からサプライヤ口座 4 2 へ、前記仕入れ商品の代金に相当する金額が振り込まれる。

続いて、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 は、第 3 図において矢印 7' で示されるように、A N S E R (R) センタ 4 3 を介して資金移動の結果を取得し、第 3 図において矢印 8 で示されるように、送金管理データベース 3 4 にアクセスして、バイヤ口座 4 1 からサプライヤ口座 4 2 への振込による資金移動についての情報を格納する。なお、該

- 情報には、前記発注書 16 の発注番号、送金元としてのバイヤ 11 の名称、送金先としてのサプライヤ 13 の名称、取引の発生した日時（通常は、発注書 16 をバイヤファクシミリ装置 12 から受信した日時又は発注書 16 をサプライヤファクシミリ装置 14 に送信した日時）、振込金額、摘要等の事項が含まれる。 続いて、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、前記発注書 16 の発注内容と発注された仕入れ商品の決済処理結果とを含む報告書を作成して、第 3 図において矢印 9 で示されるように、公衆回線網 15 を介して、バイヤファクシミリ装置 12 に送信する。なお、前記報告書には、前記発注書 16 の送信ステータス、
- 10 発注内容、サプライヤ 13 の名称、取引の発生した日時、振込結果、摘要等の事項が含まれる。また、前記 I V R 部 26 がバイヤ 11 に前記報告書の内容を音声によって通知するようにしてもよい。さらに、前記報告書と同様の報告書をサプライヤファクシミリ装置 14 に送信するようにしてもよい。
- 15 そして、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、発注内容と発注された仕入れ商品の決済処理結果とを含む報告書を所定の期間毎に作成して、第 3 図において矢印 10 及び 11 で示されるように、公衆回線網 15 を介して、バイヤファクシミリ装置 12 及びサプライヤファクシミリ装置 14 に送信する。この場合、前記報告書は、例えば、一ヶ月、
- 20 三ヶ月、半年等のように会計、決算等のために定められた所定の期間の末毎に作成されて送信される。なお、前記バイヤ 11 への報告書には、サプライヤ 13 の名称、前記期間内において取引の発生した日時、振込結果、摘要等の事項が含まれる。また、前記サプライヤ 13 への報告書には、バイヤ 11 の名称、前記期間内において取引の発生した日時、振
- 25 込結果、摘要等の事項が含まれる。

ここで、何らかの事情で発注の中止や発注内容の変更、すなわち、取

引の中止や変更を行う場合、前記バイヤ 11 は、随時、前記取引の中止や変更に関する指示を、第 3 図において矢印 12 で示されるように、バイヤファクシミリ装置 12 から F A X 受発注決済サービスサーバ 21 に送信することができる。この場合、前記バイヤ 11 は、発注番号によって前記取引を特定する必要がある。また、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 の送金管理部 28 は、前記サプライヤ 13 の承諾を得た後に、前記取引の中止や変更を行うようにすることが望ましい。なお、前記バイヤ 11 は、前記取引の中止や変更に関する指示を音声によって前記 I V R 部 26 に通知することもできる。

10 同様に、前記サプライヤ 13 は、随時、前記取引の中止や変更に関する指示を、第 3 図において矢印 13 で示されるように、サプライヤファクシミリ装置 14 から F A X 受発注決済サービスサーバ 21 に送信することができる。この場合、前記サプライヤ 13 は、発注番号によって前記取引を特定する必要がある。また、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 の送金管理部 28 は、前記バイヤ 11 の承諾を得た後に、前記取引の中止や変更を行うようにすることが望ましい。なお、前記サプライヤ 13 は、前記取引の中止や変更に関する指示を音声によって前記 I V R 部 26 に通知することもできる。

次に、第 4 図のシーケンス図について説明する。

20 ステップ S 1 バイヤ 11 は発注書 16 をバイヤファクシミリ装置 12 で F A X 受発注決済サービスセンタ 20 に送信する。

ステップ S 2 受信した発注書 16 を格納する。

ステップ S 3 発信元であるバイヤファクシミリ装置 12 の電話番号に基づいてバイヤ 11 を特定する。

25 ステップ S 4 バイヤ口座 41 の口座番号やパスワード等の情報を取得する。

- ステップS 5 発注書 1 6 からサプライヤ 1 3 を特定する。
- ステップS 6 サプライヤ口座 4 2 の口座番号等の情報を取得する。
- ステップS 7 サプライヤファクシミリ装置 1 4 にバイヤ 1 1 の発注書 1 6 を送信する。
- 5 ステップS 8 移動する資金を発注書 1 6 から特定する。
- ステップS 9 バイヤ口座 4 1 から支払金額をサプライヤ口座 4 2 へ振込を依頼する。
- ステップS 1 0 金融機関 4 0 において、バイヤ口座 4 1 からサプライヤ口座 4 2 へ振込処理を行う。
- 10 ステップS 1 0' 金融機関 4 0 から資金移動についての情報を取得する。
- ステップS 1 1 資金移動についての情報を格納する。
- ステップS 1 2 取引毎に報告書を作成する。
- ステップS 1 3 発注内容と決済処理結果の内容をバイヤファクシミリ装置 1 2 及びサプライヤファクシミリ装置 1 4 に送信して報告する。
- 15 ステップS 1 4 期間末に報告書を作成する。
- ステップS 1 5 期間毎に報告書をバイヤファクシミリ装置 1 2 に送信する。
- ステップS 1 6 期間毎に報告書をサプライヤファクシミリ装置 1 4 に送信する。
- 20 このように、本実施の形態においては、バイヤ 1 1 が発注内容をファクシミリによってFAX受発注決済サービスセンタ 2 0 に送信することによって仕入れ商品の発注を行うと、サプライヤ 1 3 は前記発注内容をファクシミリによって前記FAX受発注決済サービスセンタ 2 0 から受信することによって仕入れ商品の受注を行うようになっている。そして、
- 25 前記FAX受発注決済サービスセンタ 2 0 は、前記仕入れ商品の代金の決済処理を金融機関 4 0 に依頼し、発注内容、仕入れ商品の決済処理結

果等を保存して管理するとともに、発注内容、仕入れ商品の決済処理結果等を含む報告書を前記バイヤ１１及びサプライヤ１３にファクシミリによって送信する。

5 そのため、前記サプライヤ１３は、仕入れ商品の請求書を作成したり、送付したりする必要がなく、前記仕入れ商品の代金が自動的に自己の口座に振り込まれる。また、前記バイヤ１１は請求書を確認したり、代金をサプライヤ１３のサプライヤ口座４２に振り込むための手続を行ったりする必要がなく、前記仕入れ商品の発注を行うことができる。したがって、前記バイヤ１１及びサプライヤ１３の受発注に要する手間とコストを低減することができる。また、発注内容をファクシミリによって送受信するので、セキュリティ上の問題が発生することもない。

次に、本発明の第２の実施の形態について説明する。なお、前記第１の実施の形態と同じ構成を有するもの及び同じ動作については、その説明を省略する。

15 第５図は本発明の第２の実施の形態におけるＦＡＸ受発注決済システムの概念図、第６図は本発明の第２の実施の形態におけるＦＡＸ受発注決済サービスセンタの機能ブロック図である。

本実施の形態において、バイヤ１１及びサプライヤ１３は、それぞれ、自己のファクシミリ装置として固定電話インターネットサービス、すなわち、Ｌモード（Ｒ）に適合したファクシミリ装置であるバイヤＬモード（Ｒ）ファクシミリ装置５１及びサプライヤＬモード（Ｒ）ファクシミリ装置５２を有する。ここで、前記Ｌモード（Ｒ）は、固定電話機やファクシミリ装置を用いてインターネットの各種サービスや電子メールの送受信を行うことのできる固定電話インターネットサービスであり、
25 株式会社ＮＴＴドコモ等の電話会社によって提供されている。この場合、前記バイヤＬモード（Ｒ）ファクシミリ装置５１及びサプライヤＬモー

ド（R）ファクシミリ装置 5 2 は、第 5 図に示されるように、発注内容としての発注元（バイヤ 1 1 又はサプライヤ 1 3）、発注商品（仕入れ商品）、発注金額等を入力又は表示することができる表示画面 5 1 a 及び表示画面 5 2 a を有する。

- 5 また、本実施の形態における公衆回線網 1 5 は、第 6 図に示されるネットワークとしてのインターネット 5 6 を含むものである。そして、前記サプライヤ 1 3 は、CPU、MPU 等の演算手段、半導体メモリ、磁気ディスク等の記憶手段、CRT、液晶ディスプレイ、LED（Light Emitting Diode）ディスプレイ等の表示手段、通信インターフェイス等を備え、インターネット 5 6 に接続可能なコンピュータとしての情報端末 5 3 を有する。該情報端末 5 3 は、例えば、パーソナルコンピュータであるが、インターネット 5 6 に接続して、電子メール等の送受信、データ通信等を行うことができるものであれば、PDA（Personal Digital Assistant）、電子手帳、携帯電話機、PHS（Personal Handy-Phone System）電話機、ゲーム機、デジタルテレビ等いかなる種類の装置であってもよい。
- 10
- 15

- そして、本実施の形態における FAX 受発注決済サービスサーバ 2 1 は、メール送信処理部 5 4 及びウェブ（Web）サーバ 5 5 を有する。
- 20 前記メール送信処理部 5 4 は、送金管理部 2 8 からデータを受信して、前記バイヤ 1 1 又はサプライヤ 1 3 に通知する事項を含む電子メールを作成して、インターネット 5 6 を介して、バイヤ L モード（R）ファクシミリ装置 5 1、サプライヤ L モード（R）ファクシミリ装置 5 2 又は情報端末 5 3 に送信する。また、前記ウェブサーバ 5 5 は、送金管理部
- 25 2 8 からデータを受信して、インターネット 5 6 を介してアクセスすることができるウェブページを開設する。該ウェブページには、前記バイ

ヤLモード（R）ファクシミリ装置51の表示画面51aに表示され、
発注内容として発注元、発注商品、発注金額等を入力することが可能な
ウェブページも含まれる。そして、前記バイヤ11及びサプライヤ13
は、バイヤLモード（R）ファクシミリ装置51、サプライヤLモード
5 （R）ファクシミリ装置52又は情報端末53を操作して、前記ウェブ
ページを閲覧したり、該ウェブページに前記発注元、発注商品、発注金
額等を入力することができる。なお、本実施の形態において、FAX受
信処理部24は、バイヤLモード（R）ファクシミリ装置51からファ
クシミリによって送信された発注書を受信し、該発注書の記載事項を分
10 析してデータとして保存するだけでなく、送金企業データベース32に
格納されている前記バイヤ11の情報に含まれる電子メールアドレスを
取得する。

また、前記FAX受発注決済サービスサーバ21は、FAX受発注決
済サービスセンタ20が有する発注内容データベース35に接続されて
15 いる。該発注内容データベース35は発注内容を格納して保存するもの
であり、送金管理部28がアクセスして、必要な情報の取得及び格納を
行うようになっている。

次に、前記構成のFAX受発注決済システム10の動作について説明
する。

20 第7図は本発明の第2の実施の形態におけるFAX受発注決済シス
テムの動作を示す図、第8図は本発明の第2の実施の形態におけるFAX
受発注決済システムの動作を示すシーケンス図である。

本実施の形態において、バイヤ11及びサプライヤ13は、電子メー
ルアドレスも情報としてあらかじめFAX受発注決済サービスセンタ2
25 0に登録しているものとする。まず、バイヤ11は、認証用紙17をバ
イヤLモード（R）ファクシミリ装置51に読み取らせ、第7図におい

て矢印 1 で示されるように、FAX 受発注決済サービスセンタ 20 に送信する。ここで、前記認証用紙 17 には、いかなる事項が記載されていてもよい。

続いて、前記 FAX 受発注決済サービスセンタ 20 における FAX 受
5 発注決済サービスサーバ 21 は、前記認証用紙 17 のファクシミリデータを受信すると、前記認証用紙 17 のファクシミリデータを送信したバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 の電話番号に基づいて、第 7 図において矢印 2 で示されるように、送金企業データベース 32 にアクセスして前記バイヤ 11 の電子メールアドレスを取得する。なお、前記
10 送金企業データベース 32 には、前記電子メールアドレスに加えて、あらかじめ、バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 の電話番号、金融機関 40 に開設されたバイヤ口座 41 の口座番号やパスワード等のバイヤ 11 の情報が格納されている。

続いて、前記 FAX 受発注決済サービスサーバ 21 は、第 7 図において
15 矢印 3 で示されるように、発注元、発注商品、発注金額等を入力することができるウェブページの URL (Uniform Resource Locator) が記載されている電子メールをバイヤ 11 に送信する。そして、バイヤ 11 がバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 を操作して、第 7 図において矢印 4 で示されるように、前記 URL に
20 アクセスして、前記 FAX 受発注決済サービスサーバ 21 のウェブサーバ 55 に開設されているウェブページを取得して、バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 の表示画面 51a に表示させる。

続いて、前記バイヤ 11 は、発注内容として、発注先、発注商品、発注金額等を前記ウェブページに入力する。なお、前記第 1 の実施の形態と同様に、発注書 16 に発注内容としての発注先、発注商品、発注金額等
25 を記載し、バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 51 に読み取らせる

ことによって入力することもできる。続いて、前記バイヤ１１は、バイヤＬモード（Ｒ）ファクシミリ装置５１を操作して、発注先、発注商品、発注金額等が入力されたウェブページを前記ＦＡＸ受発注決済サービスサーバ２１に返信する。これにより、前記バイヤ１１は仕入れ商品の発注を行う。なお、前記バイヤ１１は、前記発注書１６に記入することによって、代金の振込を実行する日時を選択することもできる。

続いて、前記ＦＡＸ受発注決済サービスサーバ２１は、第７図において矢印５で示されるように、前記発注内容を発注内容データベース３５に格納して保存する。また、前記ＦＡＸ受発注決済サービスサーバ２１は、受け付けた発注毎に発注番号を付与する。そして、前記発注の発注内容は、発注番号、受信した日時、摘要等の情報とともに発注内容データベース３５に格納される。これにより、前記バイヤ１１は、発注番号を指定することによって、発注内容データベース３５に格納されている前記発注を検索することができる。また、必要に応じて、該発注の発注内容をファクシミリ又は電子メールによってバイヤＬモード（Ｒ）ファクシミリ装置５１に返信させることができる。さらに、前記ＦＡＸ受発注決済サービスサーバ２１は、前記発注内容をウェブサーバ５５に開設されているウェブページに掲載することもできる。

続いて、前記ＦＡＸ受発注決済サービスサーバ２１は、前記発注先に基づいて、サプライヤ１３を特定し、第７図において矢印６で示されるように、受取企業データベース３３にアクセスして、金融機関４０に開設されたサプライヤ口座４２の口座番号、サプライヤＬモード（Ｒ）ファクシミリ装置５２の電話番号、電子メールアドレス等の情報を取得する。

続いて、前記ＦＡＸ受発注決済サービスサーバ２１は、前記発注内容のファクシミリデータを、第７図において矢印７で示されるように、公

衆回線網 15 を介して、サプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 52 に送信する。そして、該サプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 52 は 発注内容が印刷された発注書 16 を発行する。これにより、サプライヤ 13 は仕入れ商品の受注を行う。

5 なお、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、前記発注内容が掲載されているウェブページの URL が記載された電子メールをサプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 52 又は情報端末 53 に送信してもよい。この場合、サプライヤ 13 は前記サプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 52 又は情報端末 53 を操作して、第 7 図において矢印
10 8 で示されるように、前記 URL にアクセスして、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 のウェブサーバ 55 に開設されているウェブページを取得して、サプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 52 の表示画面 52 a 又は情報端末 53 の表示手段に表示させる。

15 この場合、サプライヤ 13 は前記サプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 52 の表示画面 52 a 又は情報端末 53 を閲覧して仕入れ商品の受注を行う。なお、サプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 52 は、表示画面 52 a に表示された発注内容が印刷された発注書 16 を発行することもできる。

20 また、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 21 は、前記仕入れ商品の代金に相当する金額のバイヤ口座 41 からサプライヤ口座 42 への振込の依頼を、第 7 図において矢印 9 で示されるように、A N S E R (R) センタ 43 を介して金融機関 40 に送信する。なお、前記振込の依頼には、バイヤ口座 41 の口座番号やパスワード、サプライヤ口座 42 の口座番号等の情報も付加される。これにより、第 7 図において矢印 10 で
25 示されるように、金融機関 40 において、バイヤ口座 41 からサプライヤ口座 42 へ、前記仕入れ商品の代金に相当する金額が振り込まれる。

続いて、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 は、第 7 図において矢印 1 0' で示されるように、A N S E R (R) センタ 4 3 を介して資金移動の結果を取得し、第 7 図において矢印 1 1 で示されるように、送金管理データベース 3 4 にアクセスして、バイヤ口座 4 1 からサプライヤ口座 4 2 への振込による資金移動についての情報を格納する。なお、該情報には、前記発注書 1 6 の発注番号、送金元としてのバイヤ 1 1 の名称、送金先としてのサプライヤ 1 3 の名称、取引の発生した日時、振込金額、摘要等の事項が含まれる。

続いて、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 は、前記発注内容
10 と発注された仕入れ商品の決済処理結果とを含む報告書を作成して、第 7 図において矢印 1 2 で示されるように、公衆回線網 1 5 を介して、バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 1 に送信する。

なお、前記報告書には、前記発注書 1 6 の送信ステータス、発注内容、サプライヤ 1 3 の名称、取引の発生した日時、振込結果、摘要等の事項
15 が含まれる。また、前記報告書と同様の報告書をサプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 2 に送信するようにしてもよい。さらに、前記 I V R 部 2 6 がバイヤ 1 1 に前記報告書の内容を音声によって通知するようにしてもよいし、メール送信処理部 5 4 が前記報告書が記載された電子メールをバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 1 に送信する
20 ようにしてもよい。

そして、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 は、発注内容と発注された仕入れ商品の決済処理結果とを含む報告書を所定の期間毎に作成して、第 7 図において矢印 1 3 及び 1 4 で示されるように、公衆回線網 1 5 を介して、バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 1 及びサ
25 プライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 2 に送信する。この場合、前記報告書は、例えば、一ヶ月、三ヶ月、半年等のように会計、決算等の

ために定められた所定の期間の末毎に作成されて送信される。なお、前記バイヤ 1 1 への報告書には、サプライヤ 1 3 の名称、前記期間内において取引の発生した日時、振込結果、摘要等の事項が含まれる。また、前記サプライヤ 1 3 への報告書には、バイヤ 1 1 の名称、前記期間内において取引の発生した日時、振込結果、摘要等の事項が含まれる。さらに、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 は、前記報告書が記載された電子メールをバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 1 及びサプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 2 に送信するようにしてもよい。

また、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 は、前記報告書をウェブサーバ 5 5 に開設されているウェブページに掲載し、該ウェブページの URL をバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 1 及びサプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 2 又は情報端末 5 3 に送信してもよい。この場合、バイヤ 1 1 及びサプライヤ 1 3 は前記バイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 1 及びサプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 2 又は情報端末 5 3 を操作して、前記 URL にアクセスして、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 のウェブサーバ 5 5 に開設されているウェブページを取得する。

ここで、何らかの事情で発注の中止や発注内容の変更、すなわち、取引の中止や変更を行う場合、前記バイヤ 1 1 は、随時、前記取引の中止や変更に関する指示をバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 1 から F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 に送信することができる。この場合、前記バイヤ 1 1 は、発注番号によって前記取引を特定する必要がある。また、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 の送金管理部 2 8 は、前記サプライヤ 1 3 の承諾を得た後に、前記取引の中止や変更を行うようにすることが望ましい。なお、前記バイヤ 1 1 は、前記取引の中

止や変更に関する指示を音声によって前記 I V R 部 2 6 に通知することもできる。

同様に、前記サプライヤ 1 3 は、随時、前記取引の中止や変更に関する指示を、サプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 2 から F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 に送信することができる。この場合、前記サプライヤ 1 3 は、発注番号によって前記取引を特定する必要がある。また、前記 F A X 受発注決済サービスサーバ 2 1 の送金管理部 2 8 は、前記バイヤ 1 1 の承諾を得た後に、前記取引の中止や変更を行うようにすることが望ましい。なお、前記サプライヤ 1 3 は、前記取引の中止や変更に関する指示を音声によって前記 I V R 部 2 6 に通知することもできる。

次に、シーケンス図について説明する。

ステップ S 2 1 バイヤ 1 1 は認証用紙 1 7 をバイヤファクシミリ装置 1 2 で F A X 受発注決済サービスセンタ 2 0 に送信する。

15 ステップ S 2 2 送金企業データベース 3 2 から発信元であるバイヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 1 の電話番号に基づいて電子メールアドレスを特定する。

ステップ S 2 3 発注情報入力のためのウェブページの U R L が記載されている電子メールをバイヤ 1 1 に送信する。

20 ステップ S 2 4 バイヤ 1 1 は前記 U R L にアクセスして、ウェブページを表示させ、発注内容を入力する。

ステップ S 2 5 発注内容を発注内容データベース 3 5 に保存し、発注毎に発注番号を付与する。

25 ステップ S 2 6 受取企業データベース 3 3 からサプライヤ口座 4 2 の口座番号、サプライヤ L モード (R) ファクシミリ装置 5 2 の電話番号、電子メールアドレス等の情報を取得する。

ステップS 2 7 発注内容のファクシミリデータを送信する。又は発注内容が保存されているURLを格納した電子メールを送信する。

ステップS 2 8 電子メールを受信した場合、発注情報確認のためのURLにアクセスする。

5 ステップS 2 9 バイヤ口座4 1から支払金額をサプライヤ口座4 2へ振込を依頼する。

ステップS 3 0 金融機関4 0において、バイヤ口座4 1からサプライヤ口座4 2へ振込処理を行う。

ステップS 3 0' 金融機関4 0から資金移動についての情報を取得する。

10 ステップS 3 1 資金移動についての情報を格納する。

ステップS 3 2 取引毎に報告書を作成する。

ステップS 3 3 発注内容と決済処理結果の内容をバイヤLモード(R)ファクシミリ装置5 1に送信して報告する。

ステップS 3 4 期間末に報告書を作成する。

15 ステップS 3 5 期間毎に報告書をバイヤLモード(R)ファクシミリ装置5 1に送信する。

ステップS 3 6 期間毎に報告書をサプライヤLモード(R)ファクシミリ装置5 2に送信する。

20 このように、本実施の形態においては、バイヤ1 1及びサプライヤ1 3は、Lモード(R)に適合したファクシミリ装置であるバイヤLモード(R)ファクシミリ装置5 1及びサプライヤLモード(R)ファクシミリ装置5 2を使用するようになっている。そのため、仕入れ商品の受発注をファクシミリによって行うこともでき、電子メールやウェブページを利用して行うこともできるので、前記バイヤ1 1及びサプライヤ1 3は、自己に都合のよい手段を選択して仕入れ商品の受発注を行うこと
25 ができる。

以上詳細に説明したように、本発明によれば、ファクシミリを用いて仕入れ商品の受発注を行うと自動的に代金の決済が行われるので、サプライヤは請求書を作成したり、送付したり、直接バイヤに出向いたりする必要がなく、バイヤは請求書を確認したり、代金をサプライヤの口座に振り込むための手続を行ったりする必要がなく、また、サプライヤは入金の確認をする必要がなく、仕入れ商品の受発注のコストを低減し、前記仕入れ商品の受発注を簡便に行うことができ、さらに、前記仕入れ商品の受発注のセキュリティを高くすることができる。

10 産業上の利用可能性

前記第 1 及び第 2 の実施の形態においては、金融機関 40 に開設されたバイヤ口座 41 からサプライヤ口座 42 に振込を行うことによって仕入れ商品の代金の決済処理を行う場合について説明したが、前記決済処理は、クレジットカード等を利用するクレジット決済処理であってもよいし、電子マネーを利用する決済処理であってもよいし、決済サービス機関が決済処理を代行するネット決済システムを利用した決済処理であってもよいし、いかなる種類の決済処理であってもよい。

また、本発明は前記実施の形態に限定されるものではなく、本発明の趣旨に基づいて種々変形させることが可能であり、それらを本発明の範囲から排除するものではない。

請求の範囲

1. (a) 仕入れ商品又は役務を発注するバイヤのファクシミリ装置と、
(b) 前記仕入れ商品又は役務を受注するサプライヤのファクシミリ
5 装置と、
(c) 前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を行う決済処理機関
と、
(d) 前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置並びに決済処理
機関と通信可能に接続された F A X 受発注決済サービスセンタとを有
10 し、
(e) 該 F A X 受発注決済サービスセンタは、前記バイヤのファクシ
ミリ装置から受信した発注情報に基づき、前記サプライヤのファクシ
ミリ装置に発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金
の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を
15 前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信することを特徴と
する F A X 受発注決済システム。
2. 前記バイヤ又はサプライヤのファクシミリ装置は、固定電話インタ
ーネットサービスに適合する請求の範囲第 1 項に記載の F A X 受発注決
済システム。
- 20 3. 前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、受注情報、前記発注情報
及び決済処理結果を格納するデータベースを備え、所定の期間内におけ
る前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ又はサプライヤのファク
シミリ装置に送信する請求の範囲第 1 項又は第 2 項に記載の F A X 受発
注決済システム。
- 25 4. 前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、バイヤ及びサプライヤ登
録管理 A P 部を備え、バイヤ及び該バイヤと取引を行うサプライヤの情

報をあらかじめ登録して管理する請求の範囲第 1 項又は第 2 項に記載の F A X 受発注決済システム。

5 5. 前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、F A X 受信処理部及び F A X 送信処理部を備え、受信した発注書のファクシミリデータを O C R 機能を利用して分析し、確認のためにバイヤのファクシミリ装置に返信する請求の範囲第 1 項又は第 2 項に記載の F A X 受発注決済システム。

10 6. 前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、送金管理部を備え、バイヤがファクシミリ装置又は電話から発注の中止又は変更の指示を送信した場合、取引の中止又は変更を行う請求の範囲第 1 項又は第 2 項に記載の F A X 受発注決済システム。

7. 前記 F A X 受発注決済サービスセンタは、送金管理部を備え、サプライヤがファクシミリ装置又は電話から発注の中止又は変更の指示を送信した場合、取引の中止又は変更を行う請求の範囲第 1 項又は第 2 項に記載の F A X 受発注決済システム。

15 8. 前記バイヤのファクシミリ装置が固定電話インターネットサービスに適合する場合、バイヤが認証用紙のファクシミリデータを F A X 受発注決済サービスセンタに送信したとき、該 F A X 受発注決済サービスセンタは、受信した電話番号に基づいてバイヤの電子メールアドレスを取得し、バイヤに電子メールを送信することによってバイヤの認証を行う請求の範囲第 1 項又は第 2 項に記載の F A X 受発注決済システム。

20 9. 前記バイヤのファクシミリ装置が固定電話インターネットサービスに適合する場合、バイヤが認証用紙のファクシミリデータを F A X 受発注決済サービスセンタに送信したとき、該 F A X 受発注決済サービスセンタは、受信した電話番号に基づいてバイヤの電子メールアドレスを取得し、バイヤに発注元、発注商品、発注金額等を入力することができる
25 ウェブページの U R L が記載された電子メールを送信し、バイヤは前記

ウェブページに入力することによって発注する請求の範囲第 1 項又は第 2 項に記載の F A X 受発注決済システム。

10. (a) 仕入れ商品又は役務の発注情報をバイヤのファクシミリ装置から受信し、分析し、データベースに格納する受信処理部と、

5 (b) 前記仕入れ商品又は役務の発注情報をサプライヤのファクシミリ装置に送信する送信処理部と、

(c) 前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を行う決済処理機関と通信を行う決済処理機関通信インターフェイス部とを有し、

10 (d) 前記発注情報に基づき、前記サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信することを特徴とする F A X 受発注決済サービスセンタ。

11. 前記決済処理に基づく資金の移動を管理する送金管理部と、前記
15 資金の移動の履歴を格納する送金管理データベースとを有する請求の範囲第 10 項に記載の F A X 受発注決済サービスセンタ。

12. 所定の期間内における前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ又はサプライヤのファクシミリ装置に送信する請求の範囲第 10 項又は第 11 項に記載の F A X 受発注決済サービスセンタ。

20 13. (a) 仕入れ商品又は役務の受発注及び決済を行うために、コンピュータを、

(b) 仕入れ商品又は役務の発注情報をバイヤのファクシミリ装置から受信する受信処理部、

25 (c) 前記仕入れ商品又は役務の発注情報をサプライヤのファクシミリ装置に送信する送信処理部、及び、

(d) 前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を行う決済処理機関

と通信を行う決済処理機関通信インターフェイス部として機能させ、

- (e) 前記発注情報に基づき、前記サプライヤのファクシミリ装置に発注情報を送信するとともに、前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信するようにするFAX受発注決済サービスプログラム。
- 5

14. (a) 仕入れ商品又は役務を発注するバイヤのファクシミリ装置から発注情報を受信すると、

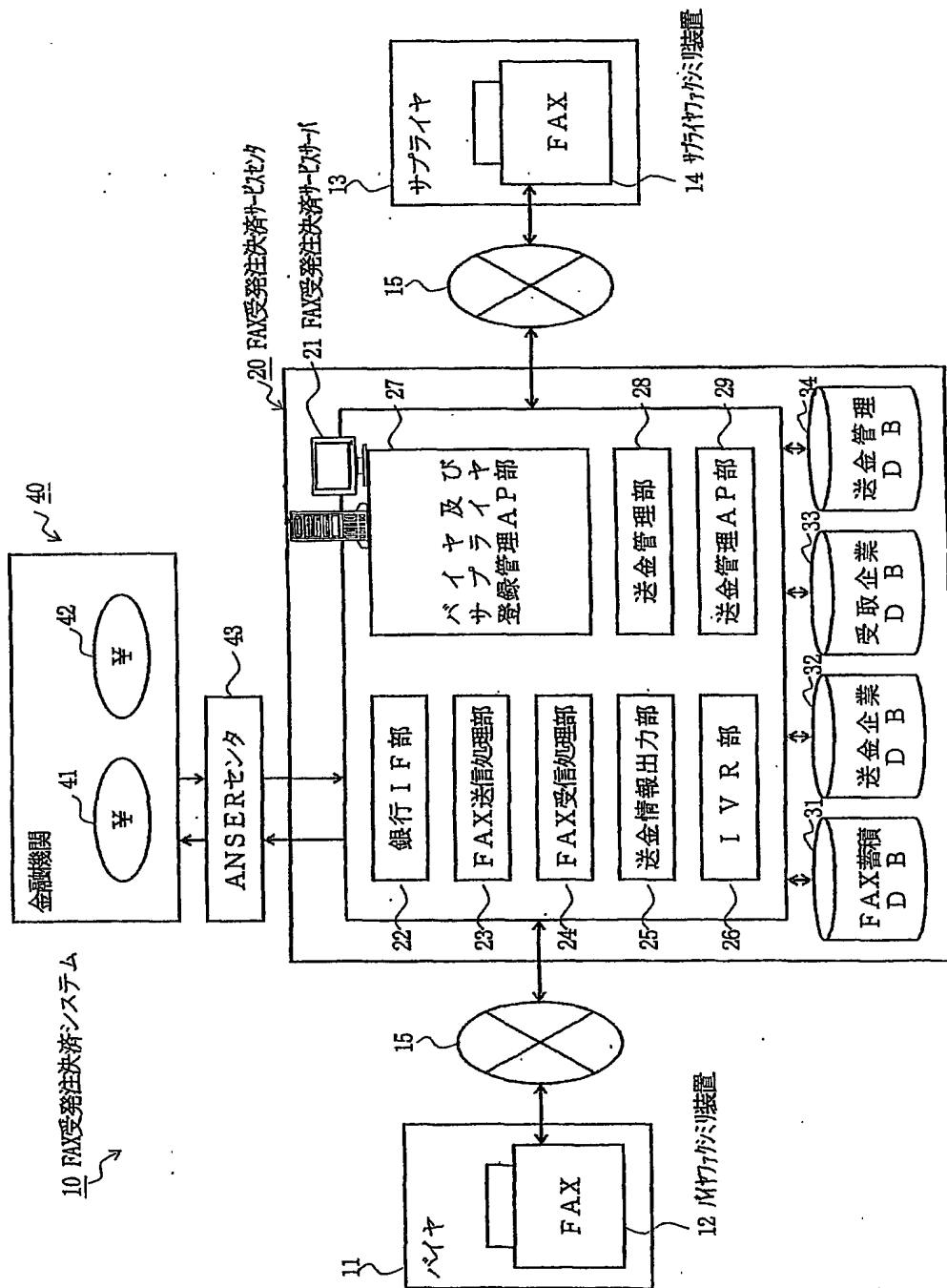
- (b) 前記仕入れ商品又は役務を受注するサプライヤのファクシミリ装置発注情報を送信するとともに、
- 10

(c) 前記仕入れ商品又は役務の代金の決済処理を決済処理機関に依頼し、

(d) 前記決済処理の結果を含む報告を前記バイヤ及びサプライヤのファクシミリ装置に返信することを特徴とするFAX受発注決済方法。

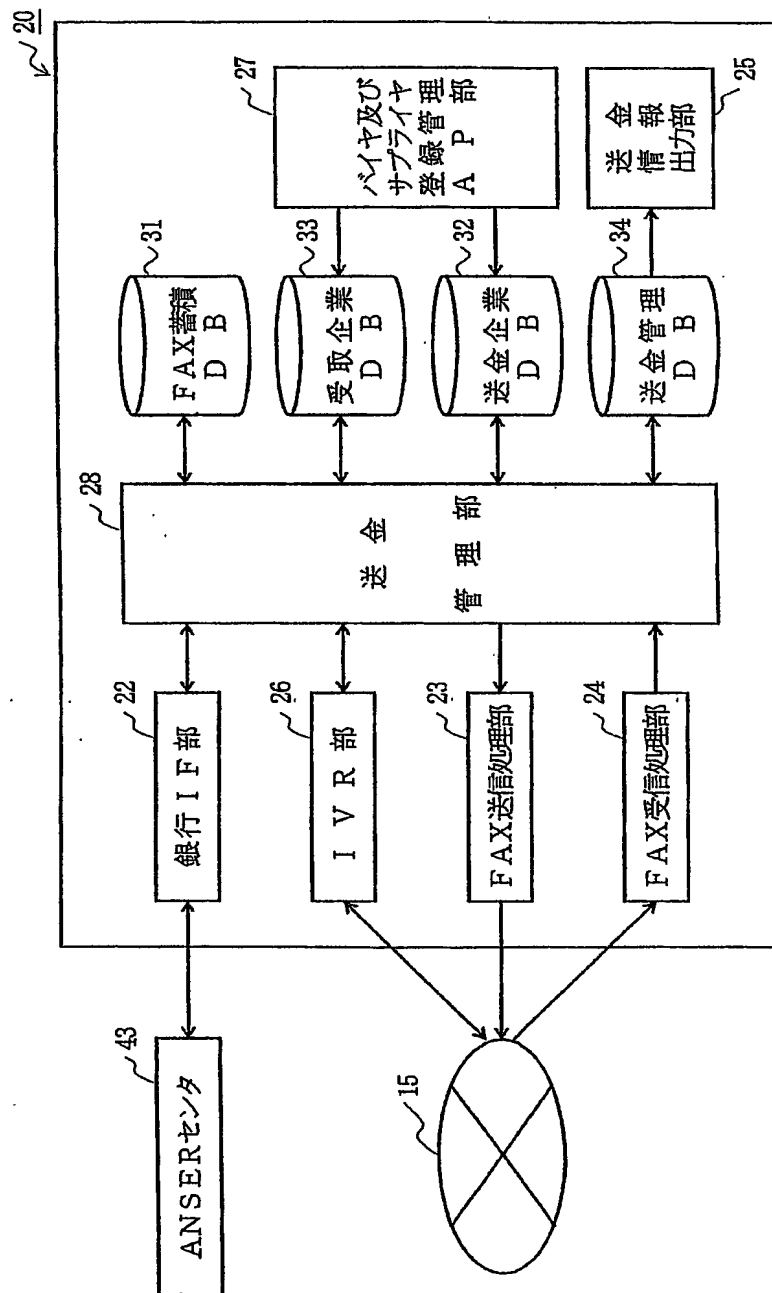
1/8

第1図



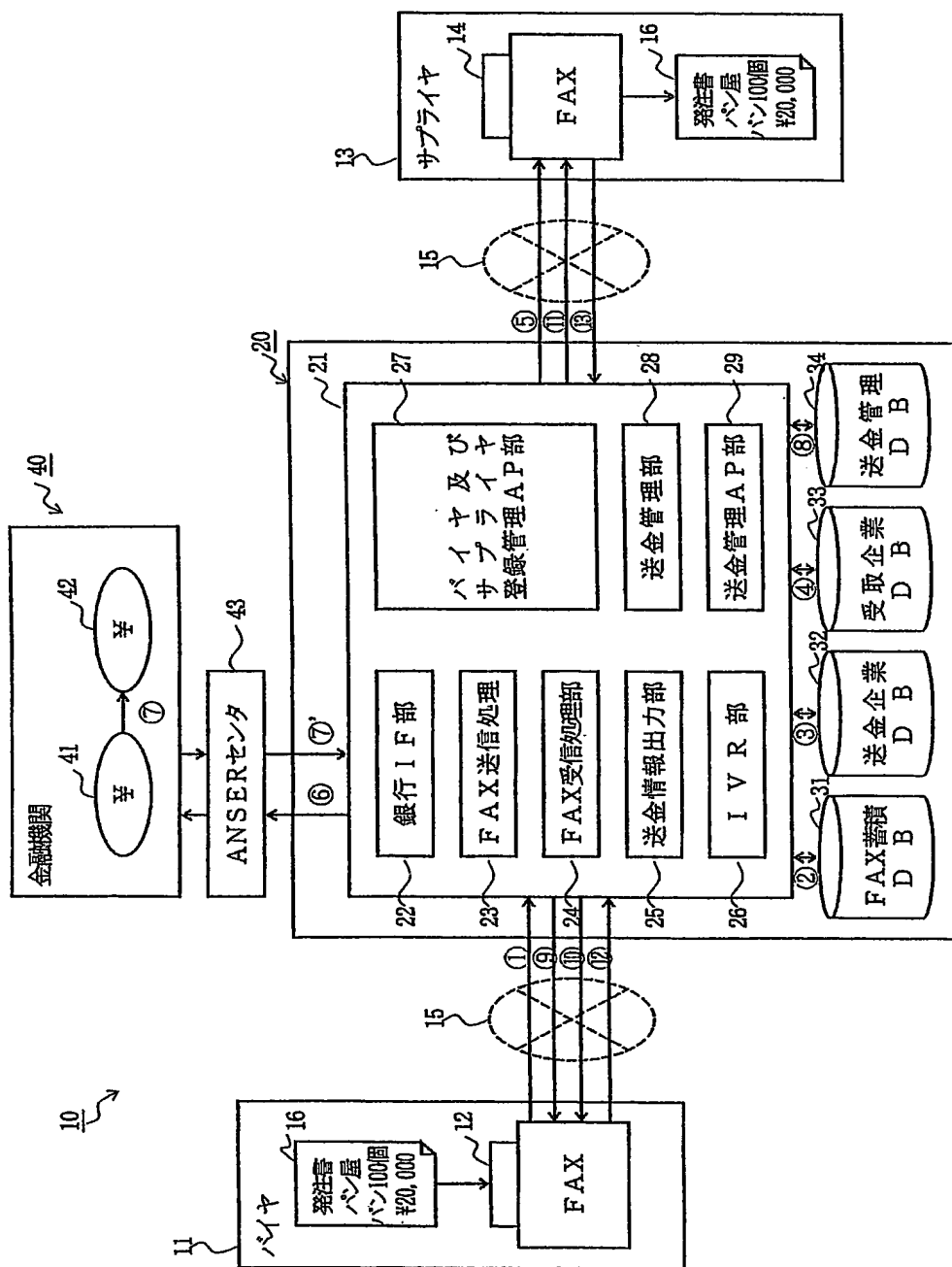
2/8

第2図



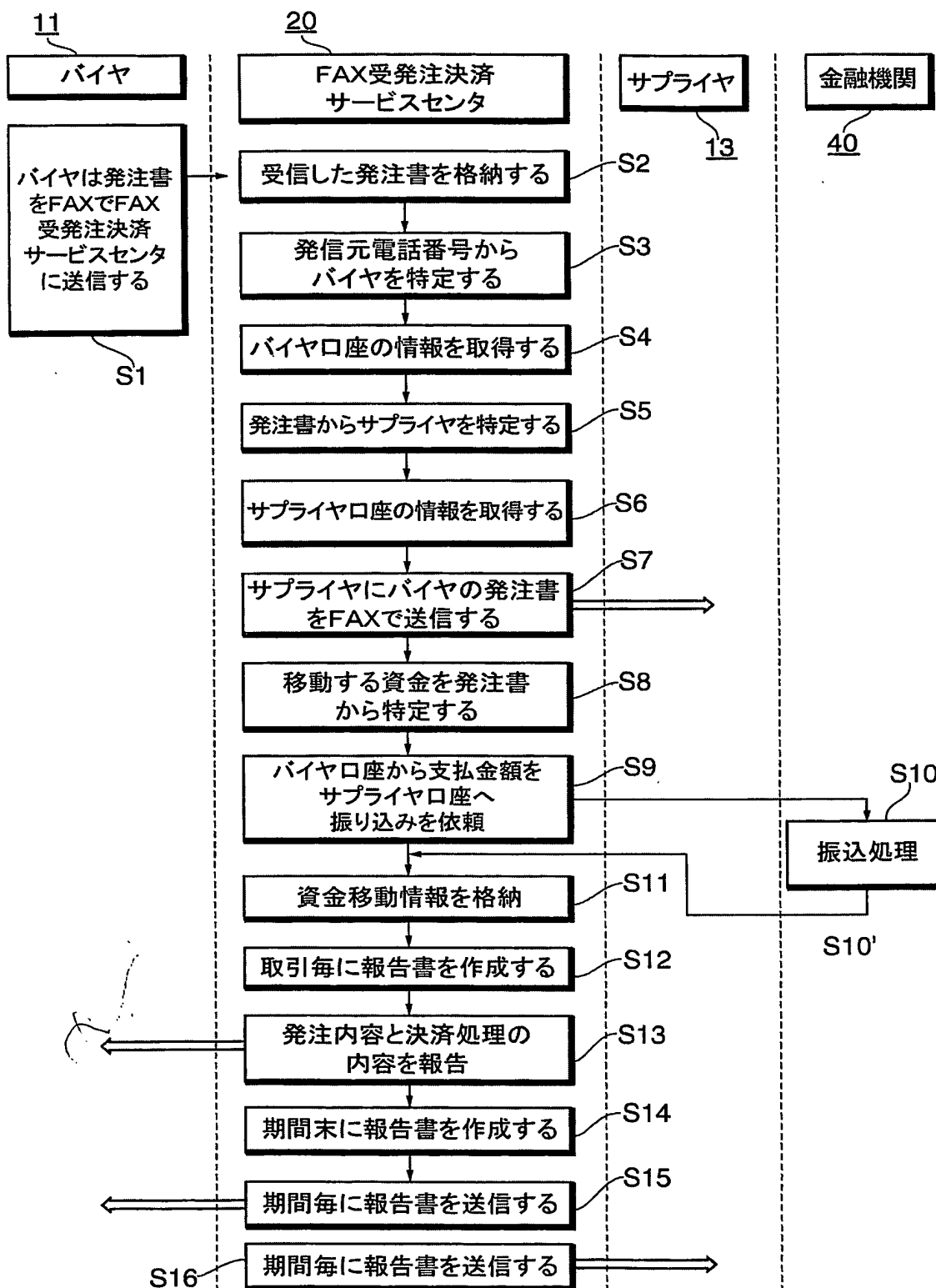
3/8

第3図

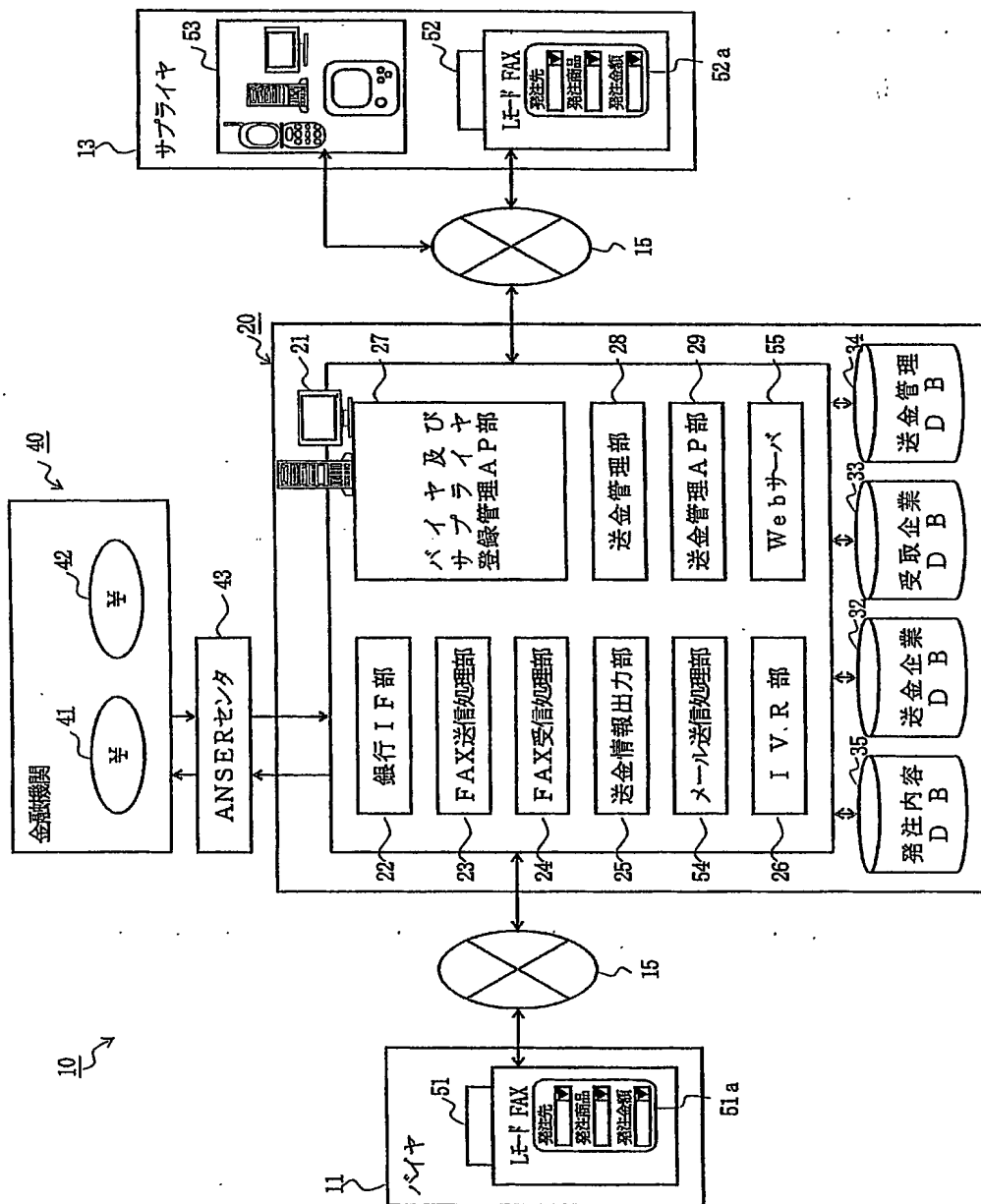


4/8

第4図

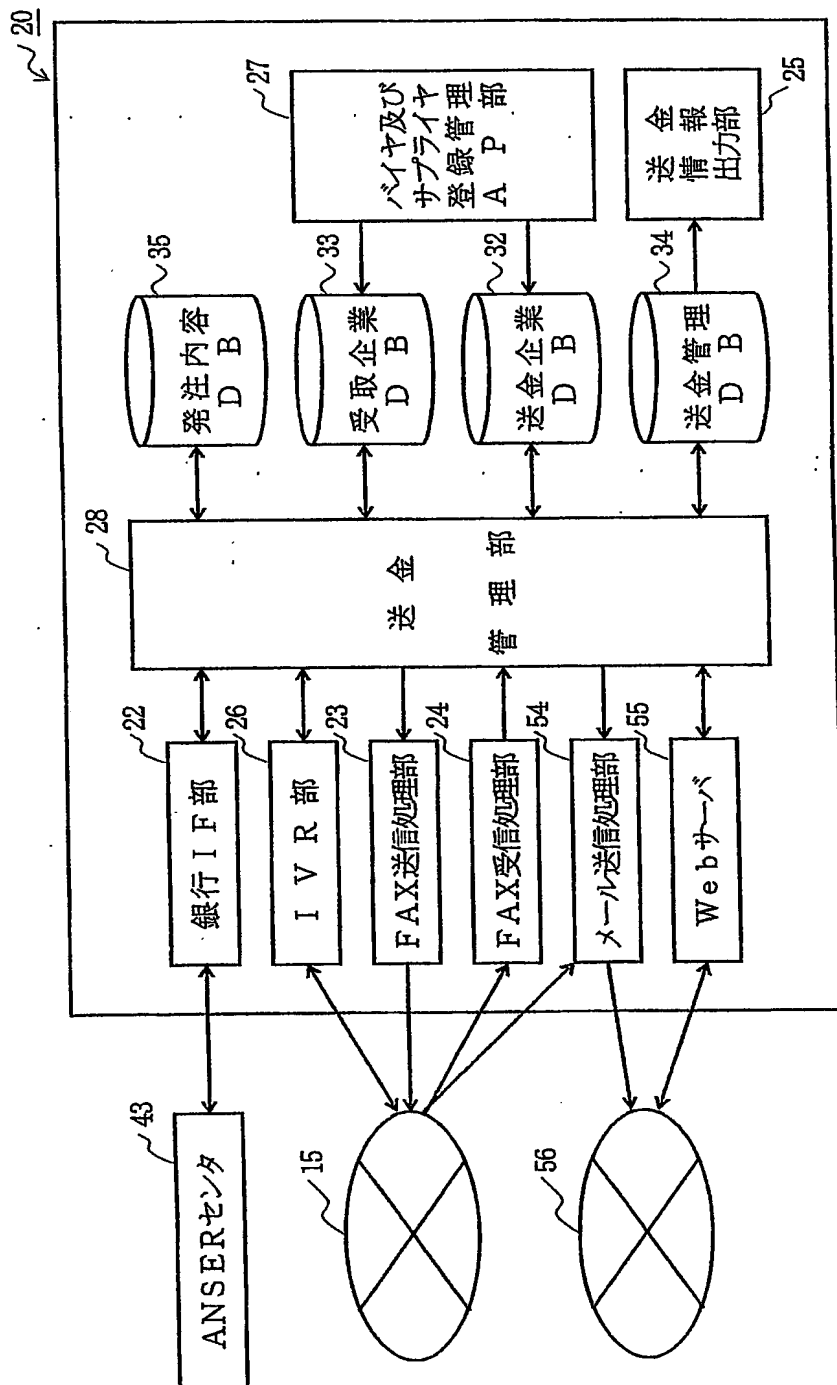


第 5 図



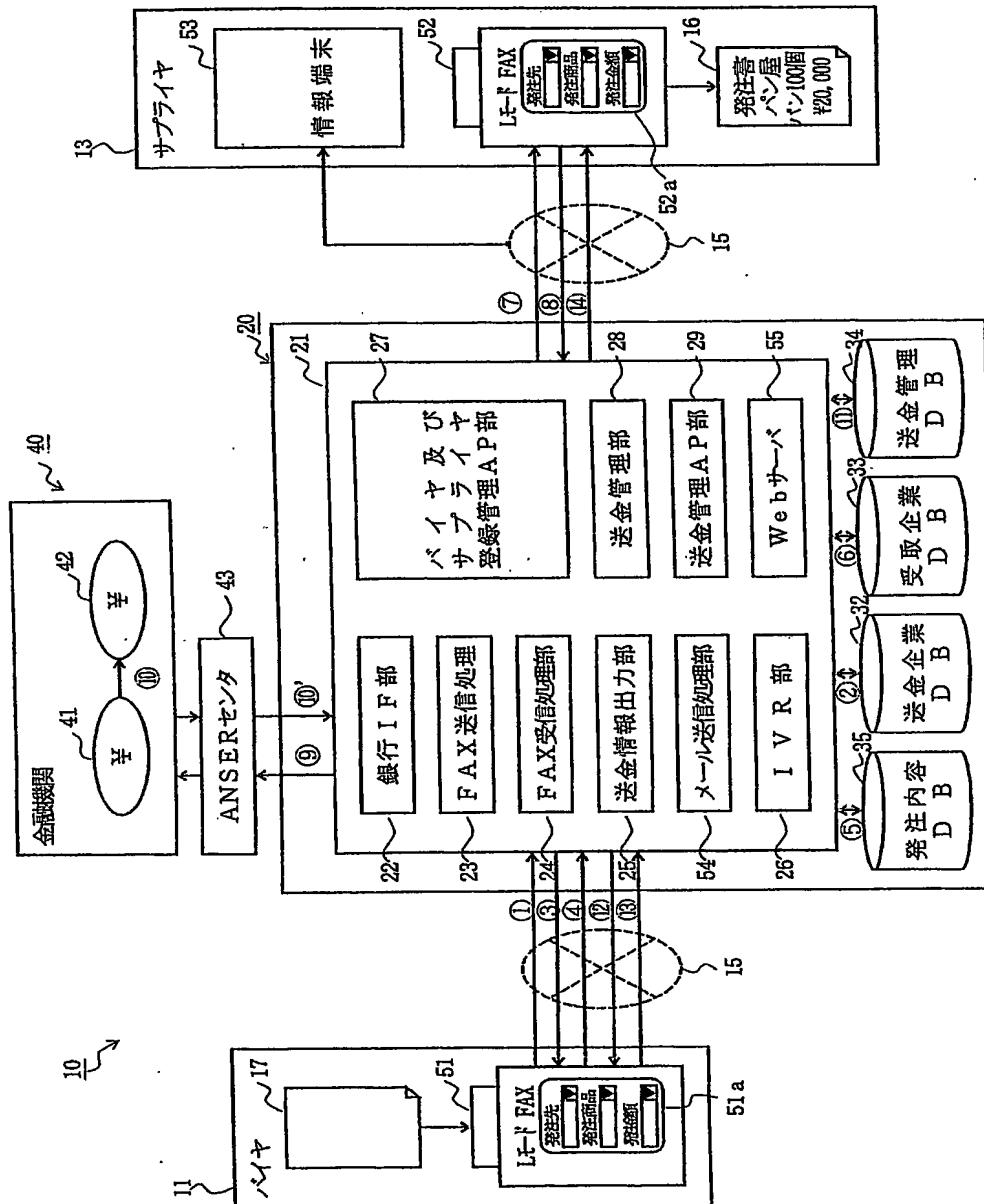
6/8

第6図



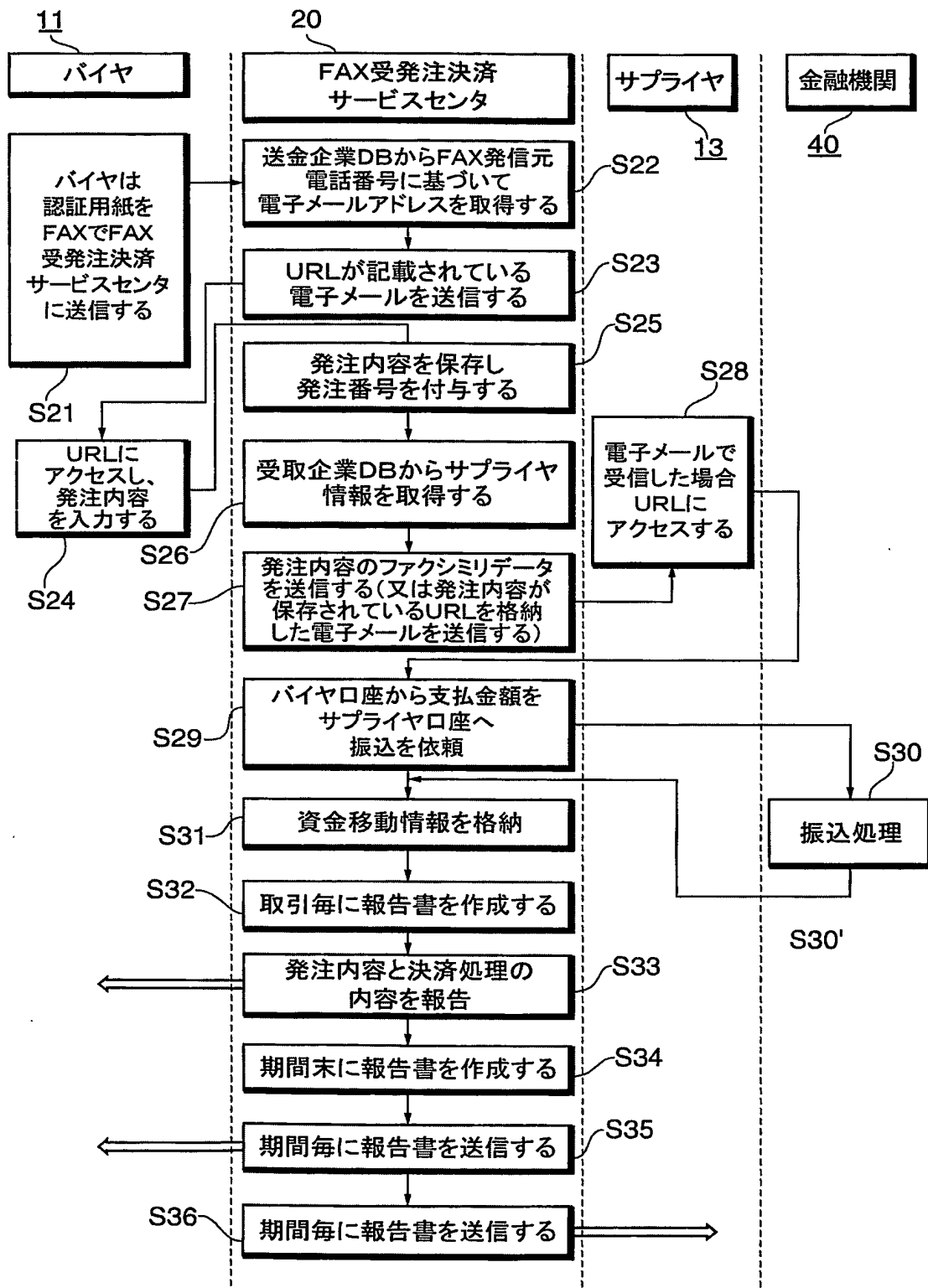
7/8

第7図



8/8

第8図



差替え用紙(規則26)